

平成 28 年度事業報告

公益法人へ移行後 6 年が経過しましたが、県防連の事業運営は公益法人関連法を遵守しつつ、概ね順調に推移していますことをまずご報告致します。

県防連としましては、平素から県内 54 の単位防犯協会による防犯ボランティア活動を支援することに配意し、いかなる事業展開が効果的なのかを念頭に置き、単位協会間の調整役としての機能発揮に努め、各種の事業を推進しました。

政府発表による平成 28 年度の経済動向を見ると、「アベノミクスの取り組みの下、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いている。但し、年度前半には海外経済で弱さがみられたほか、国内経済についても、個人消費及び民間設備投資は、所得、収益の伸びと比べ力強さを欠いた状況となっている。」とのことであり、私ども市井においてもそれを実感していく方向に進んでいる期待感を持っています。

平成 29 年度についても、上記の政策の推進により、雇用・所得環境が引き続き改善し、経済の好循環が進展する中で、民需を中心とした景気回復を望むものであり、それが日本の安全に好影響を及ぼし、更には、テロのない、世界中の人々が安心して暮らせる時代になることを常に願うものです。

その世界平和の基盤を成す地域の安全・安心のため、その一翼を担う地域の防犯ボランティアによる地道な「街の安全」活動が有効ですが、その活動の成果の一つと言われる刑法犯罪の総認知件数が 14 年連続で減少しているという数値上の成果は、大きく評価されるべきものでしょう。

とはいえ、平成 28 年中の被害総額が全国で約 406 億円、本県でも 14 億 8 千万円の特珠詐欺被害の実態があるほか、社会的弱者である女性や子どもに対する性犯罪被害等を見聞きするにつけ、県民の体感治安に満足感が不足する現実において、より一層の安心・安全な街づくりの必要性を感ずるものです。

その現状認識の下、県防連では、平成 28 年度も犯罪被害の減少化を願い、引き続き「みんなでつくろう安心のまち」をスローガンに、「安全で安心して暮らせるまち」の実現を目指し、「ご近所の防犯運動」や「ひょうごっこハートスキルアップ」を推進の柱に

- ・ 増加する凶悪犯罪への効果的対応
- ・ 防犯組織の拡充強化と地域安全活動の推進
- ・ 少年の健全育成及び非行防止活動の推進
- ・ 覚醒剤等薬物乱用防止及び拳銃等銃器使用犯罪の根絶に関する活動の推進
- ・ 暴力団追放運動の推進
- ・ 防犯優良マンション認定制度の促進

を図るため、警察をはじめ、関係機関・団体等と連携・協働しながら、下記のとおり各種事業を推進しました。

記

第 1 定例会の開催

1 第 14 回理事会

平成 28 年 5 月 19 日午後、パレス神戸において、来賓に大橋参事官兼生活安全企画課長をお迎えして開催され、平成 27 年度事業報告、平成 27 年度収支決算報告、第 8 回定時総会日程、県防連が保有する有価証券に対する意思統一、宝くじ号（青色回転灯装備車）の管理規程の制定承認の件について審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況報告、(公社)熊本県防犯協会連合会への寄附及び賛助会員の退会についても報告しました。

2 第 8 回定時総会

平成 28 年 6 月 14 日午後、パレス神戸において、来賓に田中生活安全部長をお迎えして開催され、平成 27 年度事業報告、平成 27 年度決算報告について審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、平成 28 年度事業計画承認の件、平成 28 年度収支予算の承認の件及び新しい単位協会会長の就任について報告しました。

3 第 15 回理事会（決議省略方式）

平成 28 年 10 月 24 日付け、監事中村信行氏の体調不良による監事辞任に伴う監事選任議案について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 96 条及び定款第 29 条の規定に基づき、社員総会を決議省略の方法により行うをことを提案したところ、理事全員の同意及び早原監事の同意を得て、東灘防犯協会会長廣瀬隆作氏を後任の監事候補として総会に上程することとしました。

4 第 9 回社員総会（決議省略方式）

第 15 回理事会（決議省略方式）を経て、平成 28 年 10 月 31 日付け、監事中村信行氏の辞任に伴う監事選任議案について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 58 条の規定に基づき、決議省略の方法により行ったところ、計 54 協会の正会員全員の同意及び早原監事の同意を得て、東灘防犯協会会長廣瀬隆作氏が後任の監事候補として選任されました。

5 第 16 回理事会

平成 29 年 3 月 2 日午後、兵庫県林業会館 401 号室において、来賓に大橋参事官兼生活安全企画課長をお迎えして開催され、平成 28 年度補正予算案承認の件、平成 29 年度事業計画案承認の件、平成 29 年度収支予算案承認の件、賛助会員の入会承認の件及び収益目的事業の内容変更(追加)承認について審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況、賛助会員の入会、新単位協会会長の就任、任期満了に伴う理事・監事の再候補意思の確認、第 17 回理事会及び第 10 回定時総会の開催日程及び寄附受納報告を行った後、県防連への高額寄附者である株式会社兵栄様に会長感謝状を贈呈しました。

6 平成 28 年防犯功労者等表彰式

平成 28 年 6 月 14 日午後 3 時から、パレス神戸において、来賓に兵庫県政策創生部長西上三鶴様、同地域安全課長小藤智代美様、県警犯罪抑止対策官山崎保様及び

同生活安全部長参事官大橋康仁様をお迎えして開催しました。

冒頭、県防連への高額寄附者である兵庫県遊技業協同組合様及び一般財団法人武井スポーツ育英会様に会長感謝状の贈呈（欠席）を行い、続いて、下記の方々に対して表彰状の授与又は感謝状を贈呈しました。

- ① 優良防犯団体表彰：灘防犯協会原田支部以下計 16 団体
- ② 善行青少年団体表彰：学校法人玉田学園神戸常盤大学以下 2 団体
- ③ 善行青少年個人表彰：淡路防犯協会柿本絢哉様
- ④ 防犯功労者表彰：東灘防犯協会梶井正之様以下 70 名
- ⑤ 優良職員表彰：揖龍防犯協会三木さとみ様
- ⑥ 防犯功労警察官感謝状：警察本部生活安全企画課志波伸悟様以下 15 名

計 18 団体 87 名

7 防犯協会職員研修会及び懇親会

平成 29 年 1 月 26 日午後、兵庫県民会館 3 階会議室において、来賓に森本直行参事官兼生活安全企画課長をお迎えし、武内会長及び木村副会長ご出席の下、県下単位防犯協会職員に対する研修会を開催し、最近の犯罪情勢や非行少年情勢の講義を受けた後、県下初の事業開始された「防犯活動支援自動販売機の設置運用について」の事例発表を聞き、今後の収入拡大方策に活かすこととしました。

その後、県警サイバー犯罪対策課担当者から「セキュリティー空間におけるサイバー犯罪被害防止対策」について講義を受けたほか、兵庫県地域課及び県防連からの事務連絡を実施して協会職員間における意思統一を図りました。

また、研修会終了後、有志による懇親会を開催し、研修会の席上では聴けない本音部分の意見交換会を行い、平素の疑問点等の解消に努めました。

第 2 事業概要

1 県防連事務局の自主事業

(1) 防犯ポスター及び防犯標語コンクールの実施

平成 28 年 6 月 20 日、パレス神戸において、県立高校学校長（美術教師）、県地域安全課副課長、県警生活安全企画課長補佐、同少年育成課課長補佐、暴力団追放兵庫県民センター広報相談課長及び県防連専務理事を審査委員として実施しました。結果は下表のとおりです。

テーマ	防犯ポスターの部		防犯標語の部	
	応募総数	全防連推薦数	応募総数	全防連推薦数
子供・女性の犯罪被害防止	43	6	78	7
振り込め詐欺被害防止	39	6	69	6
暴力団離脱者就労支援	12	6	47	6
計	94	18	194	19
参 考 事 項	① 全防連表彰の該当者はありません。 ② 県防連では、テーマ毎に最優秀 1 点、優秀 2 点及び佳作 3 点を選出し、会長名で表彰しました。			

(2) 地域安全ニュースコンクールの実施

平成 28 年 9 月 27 日から 3 日間、県警本部 1 階ロビーにおいて、計 19 単位協会から出品された計 32 点の作品を県警幹部らの厳正なる審査により、地域安全ニュース部門、機関誌部門及び写真部門から最優秀、優秀及び佳作を各 1 点選出し、それぞれ表彰状及び商品券を贈呈して今後の広報・啓発意識の向上に努めました。

(3) 善良な風俗の保持及び風俗環境浄化事業の推進（収益事業）

県防連は、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（法）」に基づき、兵庫県公安委員会から県内で唯一の「兵庫県風俗環境浄化協会」として指定されていますが、警察本部長から業務委託を受け、下表のとおり、風俗営業に係る新規許可申請及び構造変更承認申請に伴う現場調査業務を総計 172 件実施しました。

その他、風俗営業管理者に対する法定講習を平成 28 年 6 月から翌年 2 月までに計 10 回、計 483 名に対して実施し、更なる遵法意識の向上を図りました。

講習は、業種毎に概ね 3 年に 1 度で実施しており、平成 28 年度は、7 号営業（麻雀営業）を実施対象とし、平成 29 年度は 1 号営業（接待飲食店）が実施対象の予定です。

受講者に対しては、現下の犯罪情勢のほか、特殊詐欺被害防止について講話するほか、県と県警が設置した「ひょうご地域安全 SOS キャッチ電話相談」事業の広報・啓発にも努めました。

なお、平成 28 年 6 月に施行された改正法に基づき、ダンスホール営業が法規制対象外とされ、従来の業種区分が 1 号～ 8 号営業までが 1 号～ 5 号及び特定遊興飲食店営業（特定遊興）へと変更されました。

ア 業種別現地調査件数の状況

* 法改正前 (~28.6.23)

区分	新規許可申請							構造・設備の変更承認申請							合計		
	1号	2号	3号	4号	7号		8号	小計	1号	2号	3号	4号	7号			8号	小計
月別					パチンコ	麻雀							パチンコ	麻雀			
4		15						15		3						3	18
5		8						8									8
計		23						23		3						3	26

* 法改正後 (28.6.24 ~)

区分	新規許可申請							構造・設備の変更承認申請							合計		
	1号	2号	3号	4号		5号	特定遊興	小計	1号	2号	3号	4号		5号		特定遊興	小計
月別				パチンコ	麻雀							パチンコ	麻雀				
6	5				2		1	8				2				2	10
7	13				1		1	15					1			1	16
8	12			1	1			14				3				3	17
9	7				1	1		9				2				2	11
10	13			1	1	3		18									18
11	10				1	1		12					1			1	13
12	9							9					2	1		3	12
1	12					2		14									14
2	6							6				2	1			3	9
3	12				1			13					1			1	14
計	99			2	8	7	2	118				9	6	1		16	134
合計	99	23		2	8	7	2	141		3		9	6	1		19	160

* 参考 (平成27年度実績)

計	2	134			6	10	12	164		1			4		3	8	172
---	---	-----	--	--	---	----	----	-----	--	---	--	--	---	--	---	---	-----

イ 風俗営業管理者講習の受講者数と講習回数(○数字)の状況

月別	1号営業	2号営業	3号営業	4号		5号営業	特定遊興	計
				パチンコ	麻雀			
4								
5								
6						80		①80
7						151		②151
8						53		①53
9						22		①22
10						28		①28
11						40		①40
12						65		①65
1								
2						28		①28
3						5	11	①16
計						289	194	⑩483

* 参考 (平成27年度実績)

計						157	11	113		281
---	--	--	--	--	--	-----	----	-----	--	-----

(4) 兵庫県防犯優良マンション認定制度事業

本事業は、地域安全まちづくり条例（平成 18 年兵庫県条例第 3 号）に基づく「犯罪の防止に配慮した住宅及び住宅地の構造、設備に関する指針」による犯罪に遭いにくい構造・設備の基準を充足した集合住宅（マンション）を「防犯優良マンション」と認定し、防犯性の高い安全快適な住宅環境を提供する制度として平成 19 年度に開始し、平成 28 年度末までに計 114 件（累計 7,373 戸）を認定しています。その進捗状況は下表のとおりです。

* 認定実施機関

- ① 公益財団法人 兵庫県住宅建築総合センター
- ② NPO 法人 兵庫県防犯設備協会
- ③ 公益社団法人 兵庫県防犯協会連合会

【 進 捗 状 況 】

区分/年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	計
申請件数	3	14	16	27	17	11	15	8	7	6	124
認定件数	1	2	12	27	19	13	13	13	7	7	114
認定戸数	50	202	794	1,785	741	879	804	1,106	517	495	7,373

注) 申請年度と認定年度は整合しません。また、申請件数と認定件数の差異は、竣工前 5 件、取消し 3 件及び撤回 2 件です。

(5) 兵庫県防犯優良駐車場登録制度事業

平成 23 年度に NPO 法人兵庫県防犯設備協会との合同事業として、スタートした本事業ですが、PR 不足も否めませんが、営業者側の「収益に反映しない」等の理由から、25 年度登録以降の申請はなく、現時点の登録駐車場は下記の 3 箇所のみです。

- ① 姫路市塩町所在「パーキング富貴」49 台
- ② 姫路市南町所在「富貴・駅前パーキング」72 台
- ③ 神戸市中央区所在「P-CLUB 中山手通」88 台

(6) 第 29 回兵庫県警察少年柔道・剣道大会の開催

兵遊協福祉基金及び(一財)武井スポーツ育英会からの寄附金を活用し、8 月 10 日、グリーンアリーナ神戸において、柔道 25 チーム計 168 人、剣道 45 チームの計 300 人の選手が出場したほか、保護者ら延べ約 2,200 人の観衆の中、熱戦を繰り広げ、大きな応援と拍手が送られていました。結果は次表のとおりです。

区分	優勝	準優勝	第 3 位		敢闘賞
柔道	社柔道少年団	兵庫少年こだま会	伊丹柔道協会	黒田庄柔道少年団	青少年健全育成塾、ゆりのき柔道教室、衣川少年柔道サークル、広畑柔道教室
剣道	葺合少年剣友会	妙法寺少年剣道クラブ	三田市剣道協会	相生警察署	白川台少年研修会、やまびこ会、川西警察少年部、佐用警察署

(7) 民間企業対象の情報セキュリティーセミナーの共同開催

県警サイバー犯罪対策課では、平成 28 年度も県下 7 会場で開催しましたが、そのうち、10 月 6 日、三宮センタープラザ西館の神戸会場においては、民間企業の受講者 100 名を対象としたサイバー犯罪の被害事例と事故事例に学ぶ Web サイトのセキュリティー対策講座を商工会議所連合会等の関係団体と共同開催し、当日、NHK テレビで放映されました。なお、県防連の全賛助会員へは開催案内状を送付しております。

(8) 地域安全ヤングボランティアフレンドシップ 2016 の開催支援

平成 28 年 10 月 11 日から 10 日間実施された全国地域安全運動のプレイベントとして、10 月 10 日午後、パレス神戸において、「地域安全ヤングボランティアフレンドシップ 2016」と銘打った啓発イベントを開催しました。

当日は、県警生活安全部・県地域安全課・県防連のほか、県内 6 大学（ひごの守（関西国際大学）、HDU-Hearts（姫路獨協大学）、ポーアイ・セーフティタウン・コミュニティ（神戸学院大学）、吉備国際大学南あわじ志知キャンパス防犯ボランティア、わくわくさんのポケット（兵庫大学）、関西学院大学教育学部及び県内 3 団体（ロックモンキーズ（京都府）、あっぷりけ戦隊！奈良みまもり隊（奈良県）、摂南大学法学部中沼研究室（大阪府）の計 9 団体約 50 名参加を得てお互いの活動を盛り上げようと知恵を出し合いました。

会場では、5 班に分かれ、各団体の活動を目的別に整理し、子供の見守り活動のほか、女性対象犯罪やネット犯罪への防犯活動の必要性などを訴えました。

(9) 防犯カメラの設置促進

平成 26 年 9 月に発生した「神戸市長田区内における小学生女児殺人・死体遺棄事件」を契機として、防犯カメラの有用性が更にクローズアップされ、兵庫県が計 400 台、神戸市でも 250 台分の設置補助金を交付したほか、伊丹市においては、28 年度末までに 1,000 台を設置されるなど、安全確保への投資が県民に安心感を与えており、県防連専務理事が兵庫県及び神戸市の防犯カメラ選定審査委員として、設置促進の一翼を担っています。

(10) 平成 28 年度兵庫県警察少年健全育成研究会の開催支援

平成 29 年 2 月 13 日午後、県警本部において、各自治体教育委員会、小中高及び特別支援学校の教員、PTA 等保護者及び少年警察担当警察官ら約 170 名を集めて開催しました。

本研究会では、危険性が指摘されているスマートフォンや電子ゲーム機の機能を正しく認識し、児童ポルノ被害等の防止に役立てるものとして、(株)任天堂社員指導の下、実機を使用しての実践的研修会となり、参加者からの好評を得ました。

(11) 少年の健全育成と有害環境の排除活動等の推進

ア 機関紙・ポスター・地域安全ニュース等の発行等

- ① 機関誌「愛のともしび（年 2 回 48,800 部）」
- ② 薬物乱用防止啓発ボールペン（1,000 本）

- ③ 自転車防犯登録勸奨及び盗難防止啓発封筒 (5,000 枚)
- ④ 熊本地震災害復興祈念クリップマグネット (600 個)
- ⑤ みんなぼ防犯ハンドブック (7,400 冊)
- ⑥ 地域安全ニュース「侵入盗から守ろう」 (60,000 枚)
- ⑦ 防犯啓発ポケットティッシュ (57,500 個)
- ⑧ 金融機関への犯罪防止啓発小冊子「金融機関の防犯」 (5,000 冊)

イ 少年の健全育成事業「少年の居場所作り」支援事業への支援

平成 28 年 6 月 10 日午後、「須磨海岸」に教員 33 名、生徒 128 名、警察官 21 名を一堂に会し、海開き前の清掃作業を通じて社会への貢献活動を体験させるなどして少年らに手を差し伸べる立ち直り支援活動に助成しました。

(12) 薬物乱用防止及び拳銃等銃器使用犯罪の根絶に関する活動の支援

ア 違法銃器根絶・薬物乱用の牛に向けた街頭キャンペーンの実施

平成 28 年 10 月 3 日午前、三宮地下街オーパ前広場において、県警薬物銃器対策課、葺合署、神戸税関、神戸海上保安部、県薬務課及び神戸市保健所と合同で実施し、啓発用ボールペンを配付しました。

イ 薬物乱用防止教室の開催

県警薬物銃器対策課及び少年育成課が「地域安全ニュース」を活用して社会人から小学校低学年（保護者等含む）までを対象として開催する薬物乱用防止教室

○ 薬物銃器対策課対応＝延べ 36 回、受講者数延べ 3,113 人

○ 少年育成課対応＝延べ 459 回、受講者数延べ 98,641 人

を開催し、薬物乱用の危険性、害悪性についての啓発事業を支援をしました。

ウ 兵庫県銃器対策推進本部の活動支援

同本部の広報啓発部会メンバーとして運営会議に出席し、事業推進の広報活動のあり方を検討しました。

(13) 県警キャラクター「まもりちゃん」着ぐるみの貸し出し

平成 26 年度に購入した「まもりちゃん」着ぐるみは、県警県民広報課へ貸与し、平成 28 年度中、計 25 回、延べ 114 日間の効果的な使用により、警察と市民の架け橋役を担いました。

(14) 県警音楽隊による熊本地震被災者支援活動への支援

兵庫県カラオケボックス協会からの寄付金を活用し、平成 29 年 2 月 17 日から 4 日間、熊本県下で実施された県警音楽隊による演奏会及び仮設住宅音楽訪問活動に対し、「がんばれ熊本」と標示したクリップマグネット (600 個) をプレゼントして支援しました。

(15) 関係機関・団体との連携

平成 28 年度も県企画県民部地域安全課、同健康福祉部健康局薬務課、神戸市危機管理室、神戸市住宅都市局住宅部住宅政策課、同経済観光局経済部工業課及び警察本部組織対策局組織犯罪対策課、同生活安全部生活安全企画課、生活環境課、少年育成課、サイバー犯罪対策課並びに防犯関連の各種団体・機関との連携

を保持しました。

(16) 公益法人移行後の賛助会員年度別入会状況

(金額の単位：千円)

区 分	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	備 考
入会数	3	8	5	3	4	3	・計 86 団体等 ・収入総額 5,160 千円
金 額	50	140	100	50	270	30	

(17) 公益法人移行後の年度別寄附受納状況

(金額単位：千円)

区 分	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	備 考
件 数	3	3	4	4	4	5	
現 金	2,600	2,600	3,600	3,600	3,600	3,800	
物 品	青パト 1台	青パト 1台	青パト 1台	青パト 1台	青パト 1台	青パト 1台	㉕のみ関西遊技機商業協 同組合から、その他は 日本宝くじ協会から

2 単位防犯協会との共同事業

(1) 組織の整備と活動の活性化

ア 単位防犯協会支部等の活動強化

各単位防犯協会における各支部長を中心に、地元自治会、防犯ボランティア団体等との「防犯パトロール、街頭キャンペーン」を実施し、組織力の拡大と活動の強化を図りました。

県連連では、本活動を支援するため、ラジオ関西 558Mz のスポット放送(80秒)で「防犯一言コメント」を月6本、年間72本を流しています。

イ 防犯連絡所の活動

県内約 1,800 箇所の防犯連絡所から交番・駐在所及び警察署に対して、よろず相談から事件関係、防犯関係、少年関係、交通事故関係の各種情報を提供し、地域住民の安心感を高めることを目的としていますが、通信手段の高度化や住民意識の多様化が要因と考えられる防犯連絡所の必要性を議論する時期が到来しているとの意見もあり、改善策を模索中です。

ウ 少年保護活動の推進

「県防連会長」が委嘱した県下の少年補導員 2,666 名が、子どもの登下校時における見守り活動並びに有害広告物の除去や青少年健全育成を目的に、年間を通じて街頭補導活動を実施しました。

また、平成 28 年 11 月 1 日午前、パレス神戸において、少年補導功労者・同団体に対する表彰式を開催し、計 12 名、4 団体に対して兵庫県少年補導員連絡協議会会長表彰を授与しました。

エ 兵庫県教育委員会主宰の「トライやる・ウィーク」については、各警察署と協働して中学 2 年生を受け入れ、振り込め詐欺撲滅対策の一環として、広報用チラシの作成・配布、空き巣多発地区におけるマイク広報や「のぼり旗」の設置などを行いました。

(2) 総合的な地域安全活動等自主防犯意識の普及促進

ア 「ご近所の防犯運動」の推進

侵入犯罪やひったくり等の街頭犯罪の防止を図るため、各单位防犯協会が各警察署と協働し、自治会、町内会を始め、PTA、婦人会、子供会等に防犯対策等の情報を発信して自主防犯活動を促進しました。

イ 防犯活動支援自動販売機の設置運用開始(事例報告)

丹波防犯協会(吉住渉会長)では、平成28年4月14日、丹波市氷上町の自動車販売・整備会社において、社会貢献活動を推進する清涼飲料水販売会社とタイアップし、県下初となる「防犯活動支援自動販売機」を設置しました。

自販機には、市内の小学生から募集し選ばれた防犯標語「この町は、地域ぐるみで死角なし」を取り出し口に標示して防犯啓発を行い、夜道における防犯灯を兼ねており、安全安心のミニ拠点の効果もあります。

本事業は、単に防犯広報・啓発のみならず、売り上げの一部が同協会の収入の一助になるものであり、同協会の財源確保の意欲の表れとなるものですので、防犯協会職員研修会での事例発表によって協会活動の参考となりました。

ウ 平成28年地域安全運動兵庫県民大会の共同開催

平成28年10月19日午後、兵庫県公館において、参加者約500人中、県知事、県警本部長の臨席も得て開催しました。

会長らの挨拶・来賓紹介に続き、(公財)全国防犯協会連合会金章4名、同銀章8名、同銅章24名、同団体表彰1、近畿防犯協会連絡協議会表彰14名及び同団体表彰2への表彰伝達又は授与されました。

各種表彰後、元警察庁長官の米田壯氏による「21世紀の治安—新たな脅威に対応できるか—」と題された危機管理に関する防犯講演を聴講し、最後に、網干防犯協会副会長林裕司氏が「人とのつながりや関係機関との連携を大切にし、犯罪の起きにくい社会づくりに向けて地域ぐるみで取り組む。」と大会宣言を力強く読み上げ締めくくりました。

この他、全ての単位防犯協会においても、それぞれの自治体等と連携し、地域の独自性に趣向を凝らして「住民安全大会」等が開催されました。

(3) 暴力団追放運動の推進

平成27年8月、六代目山口組が分裂し、「神戸山口組」が結成されたことにより対立抗争状態は沈静化にあるように見えますが、その危険性は揺るがず、(公財)暴力団追放兵庫県民センター理事でもある県防連専務理事としても、暴力団追放運動の推進に積極的に協力しています。

平成28年11月8日神戸文化ホールにおいて開催された「平成28年度暴力団追放兵庫県民大会」には、瀬戸内沿線の単位防犯協会長を始め、多数の協会の参加をいただくなど、暴力団追放意識の高揚に努めました。

以上

平成28年度決算報告

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科	目	当 年 度	前 年 度	増 減
I	資 産 の 部			
	1 流 動 資 産			
	現 金 預 金	16,786,689	17,515,425	-728,736
	未 収 金	394,876	165,423	229,453
	流 動 資 産 合 計	17,181,565	17,680,848	-499,283
	2 固 定 資 産			
	(1) 特 定 資 産			
	退職給付引当金預金	497,634	910,430	-412,796
	特 定 資 産 合 計	497,634	910,430	-412,796
	(2) その他の固定資産			
	什 器 備 品	297,036	453,605	-156,569
	投 資 有 価 証 券	3,000,000	3,000,000	0
	その他の固定資産合計	3,297,036	3,453,605	-156,569
	固 定 資 産 合 計	3,794,670	4,364,035	-569,365
	資 産 合 計	20,976,235	22,044,883	-1,068,648
II	負 債 の 部			
	1 流 動 負 債			
	預 り 金	893,305	1,540,387	-647,082
	流 動 負 債 合 計	893,305	1,540,387	-647,082
	2 固 定 負 債			
	退職給付引当金	497,634	910,430	-412,796
	固 定 負 債 合 計	497,634	910,430	-412,796
	負 債 合 計	1,390,939	2,450,817	-1,059,878
III	正 味 財 産 の 部			
	1 指 定 正 味 財 産	0	0	0
	2 一 般 正 味 財 産	19,585,296	19,594,066	-8,770
	(うち特定資産への充当額)	(497,634)	(910,430)	(-412,539)
	正 味 財 産 合 計	19,585,296	19,594,066	-8,770
	負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	20,976,235	22,044,883	-1,068,648

貸借対照表内訳表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益目的事業会計				法人会計	合計
	防犯活動 推進事業	少年非行防止 活動事業	共通	小計	環境浄化 受託事業	認証制度 シール事業	共通	小計		
I 資産の部										
1 流動資産										
現金預金	3,299,795	698,128		3,997,923		10,269,290		10,269,290	2,519,476	16,786,689
未収金	40,000			40,000		354,876		354,876		394,876
流動資産合計	3,339,795	698,128	0	4,037,923	0	10,624,166	0	10,624,166	2,519,476	17,181,565
2 固定資産										
(1) 特定資産										
退職給付引当金預金	254,206	50,128		304,334	47,698	45,965		93,663	99,637	497,634
特定資産合計	254,206	50,128	0	304,334	47,698	45,965	0	93,663	99,637	497,634
(2) その他固定資産										
什器備品	193,794	103,239		297,033	1	1		2	1	297,036
投資有価証券	3,000,000			3,000,000				0		3,000,000
その他の固定資産合計	3,193,794	103,239	0	3,297,033	1	1	0	2	1	3,297,036
固定資産合計	3,448,000	153,367	0	3,601,367	47,699	45,966	0	93,665	99,638	3,794,670
資産合計	6,787,795	851,495	0	7,639,290	47,699	10,670,132	0	10,717,831	2,619,114	20,976,235
II 負債の部										
1 流動負債										
預り金	777,000			777,000				0	116,305	893,305
流動負債合計	777,000	0	0	777,000	0	0	0	0	116,305	893,305
2 固定負債										
退職給付引当金	254,206	50,128		304,334	47,698	45,965		93,663	99,637	497,634
固定負債合計	254,206	50,128	0	304,334	47,698	45,965	0	93,663	99,637	497,634
負債合計	1,031,206	50,128	0	1,081,334	47,698	45,965	0	93,663	215,942	1,390,939
III 正味財産の部										
1 指定正味財産				0				0		0
2 一般正味財産 (うち特定資産への 充当額)	5,756,589 (254,206)	801,367 (50,128)		6,557,956 (304,334)	1 (47,698)	10,624,167 (45,965)		10,624,168 (93,663)	2,403,172 (99,637)	19,585,296 (497,634)
正味財産合計	5,756,589	801,367	0	6,557,956	1	10,624,167	0	10,624,168	2,403,172	19,585,296
負債及び正味財産合計	6,787,795	851,495	0	7,639,290	47,699	10,670,132	0	10,717,831	2,619,114	20,976,235

正味財産増減計算書

自平成28年4月1日
至平成29年3月31日

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	3,478,000	3,478,000	0
賛助会員受取会費	5,160,000	5,240,000	-80,000
事業収益			
防犯優良マンション事業収益	618,840	569,160	49,680
風俗環境浄化受託事業収益	2,920,412	2,617,571	302,841
認証シール事業収益	5,885,000	6,425,000	-540,000
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	3,120,000	3,120,000	0
少年補導員受託収益	4,524,000	4,494,000	30,000
受取寄付金			
受取寄付金	3,800,000	3,600,000	200,000
雑収入			
受取利息	460	3,338	-2,878
有価証券利息	16,800	8,400	8,400
雑収入	190,392	249,792	-59,400
経常収益計	29,713,904	29,805,261	-91,357
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	13,087,060	12,935,360	151,700
退職給付費用	545,000	545,000	0
福利厚生費	2,025,126	2,126,769	-101,643
旅費交通費	302,110	293,510	8,600
通信運搬費	690,205	686,169	4,036
減価償却費	274,073	424,428	-150,355
消耗品費	218,831	43,253	175,578
印刷製本費	984,808	1,535,435	-550,627
光熱水料費	1,033,577	1,032,495	1,082
賃借料	725,916	692,617	33,299
保険料	968,728	971,896	-3,168
諸謝金	20,000	50,000	-30,000
租税公課	627,100	938,400	-311,300
支払負担金	272,088	277,578	-5,490
少年補導員活動費	1,333,000	1,333,000	0
支払寄付金	10,000	10,000	0
普及宣伝費	2,615,257	2,226,990	388,267
車両運搬費	26,233	63,101	-36,868
雑費	129,348	5,204	124,144
事業費計	25,888,460	26,191,205	-302,745

科	目	当	年	度	前	年	度	増	減
管理費									
	給料手当	935,000			1,067,000			-132,000	
	退職給付費用	55,000			55,000			0	
	福利厚生費	140,750			169,300			-28,550	
	会議費	559,580			578,897			-19,317	
	旅費交通費	207,546			164,950			42,596	
	通信運搬費	119,662			152,719			-33,057	
	減価償却費	0			10,998			-10,998	
	消耗品費	311,901			325,012			-13,111	
	印刷製本費	90,172			60,513			29,659	
	光熱水料費	83,000			85,000			-2,000	
	貸借料	61,000			59,000			2,000	
	諸謝金	181,404			108,540			72,864	
	租税公課	112,900			163,400			-50,500	
	負担金	797,612			797,122			490	
	雑費	178,687			266,189			-87,502	
	管理費計	3,834,214			4,063,640			-229,426	
	経常費用計	29,722,674			30,254,845			-532,171	
	当期経常増減額	-8,770			-449,584			440,814	
2	経常外増減の部								
(1)	経常外収益								
	経常外収益計	0			0			0	
(2)	経常外費用								
	経常外費用計	0			0			0	
	当期一般正味財産増減額	-8,770			-449,584			440,814	
	一般正味財産期首残高	19,594,066			20,043,650			-449,584	
	一般正味財産期末残高	19,585,296			19,594,066			-8,770	
II	指定正味財産増減の部								
	当期指定正味財産増減額	0			0			0	
	指定財産期首残高	0			0			0	
	指定正味財産期末残高	0			0			0	
III	正味財産期末残高	19,585,296			19,594,066			-8,770	

正味財産増減計算書内訳表

自平成28年4月1日
至平成29年3月31日

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				収益目的事業会計				法人会計	合計
	防犯活動 推進事業	少年非行防止 活動事業	共通	小計	環境浄化 受託事業	認証制度 シール事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
受取会費										
正会員受取会費	350,000			350,000				0	3,128,000	3,478,000
賛助会員受取会費	4,660,000	500,000		5,160,000				0		5,160,000
事業収益										
防犯優良マンション事業収益	618,840			618,840				0		618,840
風俗環境浄化受託事業収益				0	2,920,412			2,920,412		2,920,412
認証シール事業収益				0		5,885,000		5,885,000		5,885,000
受取補助金等										
受取地方公共団体補助金	2,520,000	600,000		3,120,000				0		3,120,000
少年補導員受託収益		4,524,000		4,524,000				0		4,524,000
受取寄付金										
受取寄付金	2,700,000	500,000		3,200,000				0	600,000	3,800,000
雑収入										
受取利息				0				0	460	460
有価証券利息	16,800			16,800				0		16,800
雑収益	150,000			150,000				0	40,392	190,392
経常収益計	11,015,640	6,124,000	0	17,139,640	2,920,412	5,885,000	0	8,805,412	3,768,852	29,713,904
(2) 経常費用										
事業費										
給料手当	6,166,000	1,850,000		8,016,000	1,753,030	3,318,030		5,071,060		13,087,060
退職厚生費	200,000	86,000		286,000	20,000	239,000		259,000		545,000
福利厚生費	590,014	326,950		916,964	299,430	808,732		1,108,162		2,025,126
旅費交通費	81,530	31,200		112,730	189,380			189,380		302,110
通信運搬費	299,494	165,377		464,871	100,458	124,876		225,334		690,205
減価償却費	204,943	69,130		274,073				0		274,073
消耗品費	79,646	12,927		92,573	81,320	44,938		126,258		218,831
印刷製本料	943,444	23,004		966,448	18,360			18,360		984,808
光熱水借料	330,577	240,000		570,577	107,000	356,000		463,000		1,033,577
賃借料	355,715	163,800		519,515	122,401	84,000		206,401		725,916
諸謝金		968,728		968,728				0		968,728
租税公課	20,000			20,000				0		20,000
支払負担金	175,200	160,200		335,400	103,400	188,300		291,700		627,100
少年補導員活動費		1,333,000		1,333,000	0	73,400		198,688		272,088
支払寄付金	10,000			10,000				0		10,000
支那運搬費	1,765,239	850,018		2,615,257				0		2,615,257
車雑費	864	864		1,728	26,233	101,620		26,233		26,233
事業費計	11,222,666	6,281,198	0	17,503,864	2,920,412	5,464,184	0	8,384,596		25,888,460
管理費										
給料手当									935,000	935,000
退職厚生費									55,000	55,000
福利厚生費									140,750	140,750
旅費交通費									559,580	559,580
通信運搬費									207,546	207,546
減価償却費									119,662	119,662
消耗品費									0	0
印刷製本料									311,901	311,901
光熱水借料									90,172	90,172
賃借料									83,000	83,000
諸謝金									61,000	61,000
租税公課									181,404	181,404
支払負担金									112,900	112,900
支那運搬費									797,612	797,612
管理費計									178,687	178,687
経常費用計	11,222,666	6,281,198		17,503,864	2,920,412	5,464,184		8,384,596	3,834,214	3,834,214
当期経常増減額	-207,026	-157,198		-364,224	0	420,816		420,816	-65,362	-8,770
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計				0				0	0	0
(2) 経常外費用										
他会計振替額	2,083	88,068		90,151		-90,151		-90,151		0
当期一般正味財産増減額	-204,943	-69,130		-274,073	0	330,665		330,665	-65,362	-8,770
一般正味財産期首残高	5,961,532	870,497		6,832,029	1	10,293,502		10,293,503	2,468,534	19,594,066
一般正味財産期末残高	5,756,589	801,367		6,557,956	1	10,624,167		10,624,168	2,403,172	19,585,296
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額				0				0		0
指定正味財産期首残高				0				0		0
指定正味財産期末残高	0			0				0		0
III 正味財産期末残高	5,756,589	801,367		6,557,956	1	10,624,167		10,624,168	2,403,172	19,585,296

財産目録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場 所 ・ 数 量	使 用 目 的 等	当 年 度
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金			
手 持 現 金	手 元 保 管	運 転 資 金 と し て	50,000
普 通 預 金	三井住友銀行神戸公務部	運 転 資 金 と し て	2,512,795
	三井住友銀行神戸公務部	運 転 資 金 と し て	777,000
	三井住友銀行兵庫県庁出張所	運 転 資 金 と し て	698,128
	三井住友銀行兵庫県庁出張所	運 転 資 金 と し て	70,995
	兵庫県警察信用組合本店	運 転 資 金 と し て	2,448,481
	みずほ銀行神戸支店	運 転 資 金 と し て	10,229,290
現金預金合計			16,786,689
(2) 未 収 金	賛助会費、環境受託収入2,3月分		394,876
流動資産合計			17,181,565
2 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
退職給付引当金預金	三井住友銀行神戸公務部		497,634
特定資産合計			497,634
(2) その他の固定資産			
什 器 備 品	パソコン 4 台	各 事 業 に 使 用	24,875
	シュレッダー 1 台	各 事 業 に 使 用	1
	まもりちゃん着ぐるみ 1 体	公 益 目 的 事 業	272,160
	第 398 回 大 阪 府 公 募 公 債 (10 年)	公 益 目 的 事 業	3,000,000
投資有価証券			
その他の固定資産計			3,297,036
固定資産合計			3,794,670
資 産 合 計			20,976,235
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
預 り 金		マンション申請料・社会保険料・所得税	893,305
流動負債合計			893,305
2 固 定 負 債			
退職給付引当金			497,634
固定負債合計			497,634
負 債 合 計			1,390,939
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			0
2 一 般 正 味 財 産			19,585,296
(うち特定資産への充当額)			(497,634)
正 味 財 産 合 計			19,585,296
負債及び正味財産合計			20,976,235

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の保有区分は満期保有目的であり、「総平均法による原価法」によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は、定率法による。

(3) 引当金の計上基準

退職給与引当金

平成24年11月に中小企業退職金共済に加入し、当年度分掛金は各事業会計から、過去勤務分掛金は引当金資産を取り崩し支出している。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	910,430	4	412,800	497,634

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当資産	497,634	0	4	497,634

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ノートパソコン	708,589	683,714	24,875
シュレッダー	199,500	199,499	1
着ぐるみ	756,000	483,840	272,160
計	1,664,089	1,367,053	297,036

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
兵庫県補助金	兵庫県	0	3,120,000	3,120,000	0

付属明細書

1 特定資産の明細

区分	科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産	退職給付引当資産	910,430	4	412,800	497,634

2 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	910,430	4	412,800	0	497,634

目的使用とは、中小企業退職金共済の過去勤務分掛金である。